



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月4日

上場会社名 株式会社シーボン 上場取引所 東
 コード番号 4926 URL <https://www.cbon.co.jp/company/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 執行役員 (氏名) 崎山 一弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 管理本部責任者 (氏名) 瀧 礼江 TEL 03-3404-7501
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,125	△9.5	△18	ー	△11	ー	△27	ー
2022年3月期第1四半期	2,347	ー	6	ー	48	ー	29	ー

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 △35百万円 (ー%) 2022年3月期第1四半期 31百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△6.49	ー
2022年3月期第1四半期	6.86	ー

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	9,364	6,122	65.3
2022年3月期	9,563	6,200	64.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 6,117百万円 2022年3月期 6,195百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	ー	0.00	ー	10.00	10.00
2023年3月期	ー				
2023年3月期(予想)		10.00	ー	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,885	104.3	115	98.5	113	59.5	△99	ー	△23.25
通期	9,814	107.2	453	234.3	451	149.7	184	412.2	43.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	4,281,200株	2022年3月期	4,281,200株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	639株	2022年3月期	639株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	4,280,561株	2022年3月期1Q	4,280,621株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、2022年8月12日（金）に、当社コーポレートサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本国内の経済環境は、昨年度長期的に発出されていた行動制限が解除され、経済活動に正常化の動きが見られたものの、国際情勢の緊迫化に端を発した原材料価格や輸送費用の高騰による物価上昇、円安の進行等が重なり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

こうした経営環境の中、当社グループは、中期経営計画の最終年度として、「顧客数拡大とお客様第一のサービス提供」「高機能製品の創出」「コスト合理化による財務基盤の強化」の3つの重点課題の実行による企業価値の向上に、引き続き取り組んでおります。さらに、顧客が感じる当社の付加価値をより高めるため、既存事業における新たな価値の創出に向け、本社機能の機動力の強化及び意思決定の迅速化を図っております。

直営店舗に関しては、昨年度に引き続き新規顧客層の開拓に注力いたしました。なかでも、オンラインを活用した集客活動を拡充し、Instagramのみならず、Twitter等のSNSを営業施策と連動させ、集客活動の効率化及び新規顧客層の拡大を図ってまいりました。SNSにおいて、インフルエンサーからサロンでの施術体験や製品の良さを発信するとともに、シーボン公式Instagramから製品サンプルのプレゼントキャンペーンや、サロンでの充実した施術内容を発信することで、ダイレクトアプローチとは異なった顧客層の流入につながりました。その結果、WEB広告による集客数は2022年3月期第4四半期に比べ、当四半期では9.7%増加いたしました。

また、従来から実施しているイベントプロモーション^{※1}では行動制限の緩和により、大型イベントの開催や、店舗で独自に実施する小規模なイベントの開催数も増加したため、イベントプロモーションからの集客数は2022年3月期第4四半期に比べ、当四半期では19.3%増加いたしました。また、新たな取り組みとして、イベントプロモーションにて来店に至らなかった顧客に対しては、LINE公式アカウントへの友達登録を促し、商品やサロンの情報、美容コンテンツ等をLINEで発信して繋がりを深めることで、当社に対する興味・関心を高め、サロンへの来店につなげております。LINE公式アカウントは順調に登録数が増加しており、配信コンテンツの内容を充実することで、クリック率は配信開始当初の約4倍となっております。

これらの活動により、新規来店数は前年同期と比べ128.0%と大きく伸びましたが、既存のお客様の継続数^{※2}は前年同期と比べ96.9%となり、直営店舗における売上高は1,972,642千円(前年同期は2,175,041千円)となりました。

当第1四半期の製品におきましては、新たに下記の製品を発売いたしました。

6月

「シーボン スムースポアエッセンス MD」数量限定発売

“なめらかでうるおいに満ちた毛穴の目立ちにくい素肌”を適える大人肌に向けた美容液

「シーボン 酵素美人プレミアムー葡萄」新発売

毎日の美容と健康維持に。スツキリをサポート

この結果、当第1四半期連結累計期間における連結売上高は2,125,667千円(前年同期は2,347,686千円)となりました。利益面におきましては、営業損失は18,598千円(前年同期は営業利益6,548千円)となり、経常損失は11,952千円(前年同期は経常利益48,514千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は27,763千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益29,367千円)となりました。

※1 イベントプロモーション

：新規顧客獲得のために、サロンにおけるトライアルプランにご予約いただけるように、イベントブース等で簡易の肌チェックを通じてシーボンをご紹介するプロモーション活動

※2 継続数

：1ヵ月に1回以上来店のあるお客様ののべ人数

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は4,744,292千円となり、前連結会計年度末に比べ107,793千円減少いたしました。その主な要因は、商品及び製品の増加(前連結会計年度末比89,033千円増)、原材料及び貯蔵品の増加(前連結会計年度末比70,970千円増)があった一方で、その他流動資産の減少(前連結会計年度末比252,613千円減)によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末の固定資産は4,620,443千円となり、前連結会計年度末に比べ90,833千円減少いたしました。その主な要因は、建物及び構築物の減少（前連結会計年度末比56,085千円減）によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は2,763,744千円となり、前連結会計年度末に比べ79,371千円減少いたしました。その主な要因は、その他流動負債の減少（前連結会計年度末比84,436千円減）によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末の固定負債は478,350千円となり、前連結会計年度末に比べ41,327千円減少いたしました。その主な要因は、その他固定負債の減少（前連結会計年度末比44,961千円減）によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は6,122,642千円となり、前連結会計年度末に比べ77,926千円減少いたしました。その主な要因は、利益剰余金の減少（前連結会計年度末比70,568千円減）によるものであります。

この結果、自己資本比率は65.3%（前連結会計年度末は64.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月12日付「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて発表いたしました第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,799,747	2,746,142
受取手形及び売掛金	757,148	814,677
商品及び製品	399,563	488,596
仕掛品	63,745	44,683
原材料及び貯蔵品	407,351	478,322
その他	424,749	172,136
貸倒引当金	△219	△266
流動資産合計	4,852,086	4,744,292
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,769,511	1,713,426
土地	1,344,827	1,344,827
その他(純額)	226,575	207,690
有形固定資産合計	3,340,915	3,265,943
無形固定資産	75,043	68,942
投資その他の資産		
その他	1,318,317	1,308,557
貸倒引当金	△23,000	△23,000
投資その他の資産合計	1,295,317	1,285,557
固定資産合計	4,711,276	4,620,443
資産合計	9,563,362	9,364,736
負債の部		
流動負債		
買掛金	74,833	164,800
1年内返済予定の長期借入金	5,800	5,800
未払法人税等	73,089	28,577
契約負債	1,513,114	1,472,664
資産除去債務	8,791	8,852
その他	1,167,485	1,083,049
流動負債合計	2,843,115	2,763,744
固定負債		
長期借入金	8,700	7,250
資産除去債務	304,399	309,483
その他	206,578	161,617
固定負債合計	519,677	478,350
負債合計	3,362,793	3,242,094
純資産の部		
株主資本		
資本金	483,930	483,930
資本剰余金	367,830	367,830
利益剰余金	5,191,179	5,120,610
自己株式	△1,426	△1,426
株主資本合計	6,041,513	5,970,945
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	152,171	141,539
為替換算調整勘定	2,223	5,496
その他の包括利益累計額合計	154,394	147,036
新株予約権	4,660	4,660
純資産合計	6,200,568	6,122,642
負債純資産合計	9,563,362	9,364,736

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	2,347,686	2,125,667
売上原価	542,095	474,037
売上総利益	1,805,590	1,651,629
販売費及び一般管理費	1,799,041	1,670,228
営業利益又は営業損失(△)	6,548	△18,598
営業外収益		
受取利息	26	25
受取配当金	1,282	948
受取家賃	4,658	3,053
雇用調整助成金	36,348	1,602
その他	1,921	3,013
営業外収益合計	44,236	8,642
営業外費用		
支払利息	21	109
社宅等解約損	120	90
為替差損	747	532
支払手数料	1,246	1,260
その他	135	4
営業外費用合計	2,271	1,996
経常利益又は経常損失(△)	48,514	△11,952
特別利益		
固定資産売却益	479	—
特別利益合計	479	—
特別損失		
固定資産除却損	603	154
減損損失	2,322	—
特別損失合計	2,925	154
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	46,068	△12,107
法人税、住民税及び事業税	15,142	14,774
法人税等調整額	1,558	880
法人税等合計	16,700	15,655
四半期純利益又は四半期純損失(△)	29,367	△27,763
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	29,367	△27,763

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	29,367	△27,763
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△706	△10,631
為替換算調整勘定	3,164	3,273
その他の包括利益合計	2,458	△7,358
四半期包括利益	31,826	△35,121
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,826	△35,121
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)「店舗固定資産の減損損失の判定」に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。